

エアーマッサージチェアの補修

(フジ医療機 MC-133)

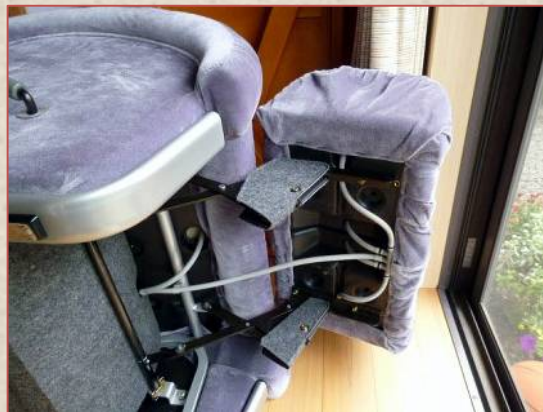
概要

- ・ 17年前(H8/6月)に購入したエアーマッサージチェアだが、エア漏れするようになっていたので、サービス期間が終了していることもあり、自前補修に挑戦してみることに。
- ・ マッサージチェアのパイオニア、フジ医療機製なので、構造はしっかりしており、案外簡単に不具合部に辿り着くことができた。

製造者 フジ医療機 購入額：226,600円

補修費用 0円

完成：2013年6月



↑足を締め付けるエアバッグ。チューブニップル部にヒビ割れあり、接着剤で補修する。



↑ げんこつ玉でゴリゴリやるのに代わり、エアバッグが次々が膨らんでマッサージする最初のモデル。その心地良さに衝動買い。それにしても当時は高かったなあ。

→ ソファ補修の時のように、座面の取り外しに苦労するかと思いきや、カパッと嵌め込んであるだけ、分解し易いように出来ています。



→ エアーポンプ(?)の吸排気ロスポンジフィルターが、加水分解してボロボロだったので、ソファ補修に使用したスポンジに交換した。(黄色スポンジ 100×130×5t)



← 座面を引き剥がし、ニップルの破断を弾性型接着材で修復中。→ たっぷり肉厚に接着するので、このまま3日間ほど静置して固めます。

ポンプの圧力を調べてみると、風船を膨らませる程度の10~15kPaと判断。これなら湿気硬化型の弾性接着剤でエア漏れを止められるでしょう。



メモ

- ・ 昔、晴海の展示場に出かけた時、デモ機の心地よさに惹かれて衝動買い、腰痛の度にお世話になり、早17年。
- ・ 久しぶりに動かしてみると、あれっ?とを感じる違和感……。お尻部の膨らみが極端に弱いと、足を締め付けるバッグからエア洩れ音が……。元々排気音はするのだが、こんな感じではなかったな?
- ・ 17年も経っていれば寿命に違いないが、エア漏れ程度なら直せるのでは?と、分解禁止警告を無視して挑戦する。
- ・ チューブ接続部は、ウレタン系ゴムだったので、経年変化で劣化が進んだと思われるが、今回の補修でまだ十分使えそうである。チューブはシリコン系なので劣化は見られなかった。
- ・ スポンジフィルターは、さすがにベトベトに加水分解、大気の入出入りするフィルターにスポンジとはお粗末だけど、17年も動けば御の字なのかも……。